

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	地域の個性を活かした均衡あるまちの発展プロジェクト	実施期間	平成23年度～	テーマ	観光振興による均衡あるまちの発展	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	木津川市は府内でも京都市に次ぐ豊富な文化財を有し、また、地域のまつりをはじめとする旧町が守り育ててきた伝統・文化がある。この特性を活かした保全・活用・育成や、様々な観光振興事業の取組みを進めることが、新たな地域文化を創造し、未来へ継承していくとともに木津川市全体の均衡ある発展を実現していく上での課題となる。 また、市のイメージアップとPRのために情報発信力を強化するとともに、住民活動を促進し、また市と住民との協働体制を確立していくことが重要となる。						
プロジェクトの目的及び概要	木津川市の特色を活かしたまちづくりや住民と協働した事業や様々な観光振興事業への取組みを進め、市内外へ情報発信していくことで、市のイメージアップと観光客の増加につなげ、市全体の均衡ある発展を目指す。						
	総事業費（千円）	218,708	本年度事業費（千円）	57,904	交付金額（千円）	13,046	
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	高麗寺跡史跡整備事業	交付対象事業	公有化した高麗寺跡史跡指定地とその周辺の土地を史跡公園として整備し、地域住民の憩いの場とするとともに歴史学習の拠点とする。		事業期間：H17～25 史跡指定土地取得 購入：2,102㎡ 史跡基礎整備 盛土工事：386㎡		
	木津川市ホームページ更新事業	交付対象事業	木津川市のイメージアップを図るとともに、記事をより充実した魅力あるものにして木津川市の発信力を高めるため、市ホームページのデザイン及びシステムのリニューアル。		新しいコンテンツの導入（英語ページ、携帯電話用ページ、地図機能の充実等） HPアクセス数：238,917（H24.4.1～7.19）		
	恭仁宮跡史跡等買上事業	関連事業	史跡恭仁宮跡の公有化及び保全・活用。		公有化事業 購入土地：4,117㎡ 建物等移転補償：4棟		
	木津城址公園建設事業	関連事業	木津中央地区内において、歴史的文化遺産としての木津城址の保全と合わせて、スポーツレクリエーション機能を有する地区公園の整備。		事業期間：H21～25 計画面積：8.7ha		
	上粕東部基幹農道整備事業	関連事業	農道と既設市道を接続する道路を整備するための用地取得。		事業期間：H23～25 道路築造：420m		
住民協働事業	木津川市観光振興事業	交付対象事業	木津御輿祭における布団太鼓のライトアップと祭の周知、マスコットキャラクターの作成、観光案内図・道標：案内所看板の作成と設置、携帯電話を利用した観光案内アプリケーションの開発。		御輿祭布団太鼓のライトアップ：H23.10.3～10.17 御輿祭ポスター：2,000枚、垂幕作成：1枚 観光案内版設置：7カ所		
	史跡恭仁宮跡保全管理事業	交付対象事業	史跡恭仁宮跡の保全や景観維持のための除草や花の栽培。		草刈作業：3.8ha（年2回） コスモス等花卉栽培：2.5ha 清掃等維持管理：0.98ha（仮整備地）		
住民が取り組む事業	木津川市納涼大会事業	交付対象事業	観光協会を中心とした市民による木津川市夏祭り実行委員会が主催する納涼大会事業に対する補助。		来場者数：約43,000人		
	文化財愛護団体補助事業	交付対象事業	木津川市に登録している文化財愛護団体の文化財保存・愛護・啓発等の活動に対する補助。		木津川市の文化財愛護団体（6団体）への補助金交付		
	国民文化祭事業	関連事業	国民文化祭の取組として恭仁京遷都祭をはじめとする6つの事業からなる「恭仁京遷都祭」の実施。		恭仁京遷都祭、木津川アート等 計6事業実施 来場者数：約111,000人		
	地域まつり事業	関連事業	市内の3町において実施する木の津まつり（木津町）・加茂あきんどまつり（加茂町）・やましろまつり（山城町）に対する補助。		来場者数：加茂あきんどまつり 約18,000人 木の津まつり 約11,000人 やましろまつり 約6,000人		
成果指標①	成果指標の目標数値	木津川市観光入込客数：1,050,000人（H23）		成果指標の実績値（24年3月31日時点）	木津川市観光入込客数：984,512人（H23）		
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	指標である観光入込客数を算出するうえで、調査地点数（観光地点）が減ったため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）		
成果指標②	成果指標の目標数値	納涼大会参加者数：43,000人		成果指標の実績値（24年3月31日時点）	参加者数：約43,000人		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	前年度において「実行委員会」により再開された事業（参加者数40,000）であり、本年度は実行委員会による運営が定着化した。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）		
成果指標③	成果指標の目標数値	ホームページの閲覧者数（年間閲覧者数） 62,276人（H23）⇒80,000（H25）		成果指標の実績値（〇年〇月〇日時点）	—		
	成果指標の達成状況	-	（左の理由）				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	新HPの運営が平成24年度からであるため、平成23年度の実績については評価できない。		（時期）	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	国民文化祭の取組として恭仁京遷都祭を実施し、その相乗効果により木津川市へ多くの来場者を獲得することができた。また、納涼大会においては、昨年度から実行委員会が主催となることで花火をメインとした各種イベントも多様となり、多くの参加者を集めることができた。						
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。						
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・平成23年度は国民文化祭が京都府内で開催されたこともあり、その取組として恭仁京遷都祭を実施することで木津川市の魅力を広く発信することができ、市の歴史的資源を再発見する良い機会となった。また、木津川アート等の新たな来訪者誘客の契機を創り出こととなった。					
	府と市町村等との連携に資する成果	・府立山城郷土資料館と連携して、史跡高麗寺跡を歴史学習・歴史体験の場として活用することが可能となる。 ・恭仁宮跡は大規模な開発をうけていない貴重な宮都跡として、史跡の拡大や宮域の調査などを旧加茂町時代から府と連携しながら進めている。					
	住民の自治意識を高める成果	・高麗寺跡史跡の整備後は、地元住民の誇るべき史跡として、住民による維持管理体制の構築をする。 ・納涼大会は、市民や市民団体が中心とした「夏祭り実行委員会」が運営し、花火大会をメイン行事として様々な催しを行っており、地域の自主性を大きく高める効果があった。					
	リーディング・モデル成果	・史跡を公園化する事業は相楽地域で先例のない事業であり、高麗寺跡史跡公園としての有効活用の先駆的モデルとなることが期待できる。					
	広域的波及成果	・国民文化祭の一環として恭仁京遷都祭を実施することで、木津川市の魅力を全国的規模で発信することができた。					
	行財政改革に資する成果	・史跡公園等の管理運営を住民との協働事業とし、地域の誇りや愛着心を醸成し自主性や活力を事業に取り込むことができ、あわせて管理経費を抑制することができた。 ・納涼大会事業は、実施体制や内容の見直しによって、従前よりも多くの地域住民や市民団体の事業運営への参画を促すこととなった。					
	その他の成果						

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	関西文化学術研究都市の中心都市としての発展プロジェクト		実施期間	平成23年度～	テーマ	交通利便性の向上と人口増加への対応	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	合併後、木津川市の人口は順調に伸び続けており、7万人を突破するにいたった。国家プロジェクトである関西文化学術研究都市建設を成功させ、木津川市のみならず京都府や国の発展を目指し、関連市町村・府・国との連携協力を進めていく。 今後、学研都市における交通利便性の向上、企業・研究施設の立地や新たな産業の創出を促進するとともに、さらなる転入者の増加につなげていくためには、インフラ整備や義務教育施設の整備などが不可欠となるが、事業に必要な莫大な費用の財源確保が課題となる。 また、学研都市区域の都市開発が進む中で、開発で見出された地域内の文化財についても適切な保全及び活用に取り組む。							
プロジェクトの目的及び概要	きのつバスやインフラの整備により、学研都市の交通利便性を高め、住民の生活環境を向上させるとともに企業が立地しやすい環境整備を進める。義務教育施設を整備することにより、増加する児童・生徒に対応し、さらなる子育て世帯の転入増加につなげる。							
	総事業費（千円）	1,312,960	本年度事業費（千円）	152,988	交付金額（千円）	23,286		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	関西文化学術研究都市公共交通サービス事業	交付対象事業	きのつバスの運行。きのつバスの3路線は、すべての路線が学研都市の窓口である主要駅と市内の各クラスターを結び、関西文化学術研究都市の建設の推進において非常に大きな役割を果たしている。また公共施設とのアクセスや交通空白地帯の解消など、住民の日常生活にも重要な役割を担っている。			路線数：3路線（平日10往復、土・日・祝日8往復） 梅谷高の原線、鹿背山高の原線及び木津川台高の原線 運賃：大人200円（小児半額） 利用者数：年間245,857人		
	企業立地促進事業	交付対象事業	企業立地促進条例に基づき、企業の事業場設置に係る費用の一部助成や地元住民雇用に対する助成等により、企業立地を促進する。			企業誘致（木津南地区）：4件（約5.4ヘクタール） 操業支援助成金交付：1社		
	木津第二中学校駐輪場整備事業	交付対象事業	生徒の増加による許容量超過に対応するため木津第二中学校の駐輪場を増設する。			駐輪台数：300台（100台分の増設）		
	鹿背山瓦窯跡史跡等買上事業	交付対象事業	平成22年度に奈良山丘陵に所在する官瓦窯跡群として史跡に指定された「奈良山瓦窯跡」を構成する鹿背山瓦窯跡を公有化し、史跡の保全と活用を行う。			史跡指定土地取得 購入：3157.90㎡		
	児童・生徒安全対策事業	関連事業	府立木津高等学校の周辺道路の整備。			設計業務委託（木津内田山地内新設道路設計業務）		
	木津城址公園建設事業	関連事業	木津中央地区内において、歴史的文化遺産としての木津城址の保全と合わせて、スポーツレクリエーション機能を有する地区公園の整備を図る。			事業期間：H21～25 計画面積：8.7ha		
	義務教育施設等整備事業	関連事業	学研都市開発に伴い立替施行により新設した義務教育施設等整備費の償還。			償還額：97,472千円		
	西垣外加茂線・内垣外内田山線他道路改良事業	関連事業	木津中央地区と木津西地域とのアクセス向上のため、木津駅東地域の既設市道の拡幅やバリアフリー化を行い、木津駅周辺の公共交通ネットワーク形成を図る。			西垣外加茂線 用地買収・整備工事（繰越） 内垣外内田山線 用地買収（繰越）		
	東中央線整備事業	関連事業	国道24号線と国道163号線との重複区間の渋滞の緩和を図る府の事業と連携し、より効果が高まる道路計画を検討する。			東中央線周辺地区測量業務 （東中央線道路延長（道路幅）：1,400m（11.0～16.0m））		
	木津駅東地区整備事業	関連事業	木津駅東口バスロータリー南側の道路・水路・駐輪場の整備工事を実施する。			駐輪場 面積：4,600㎡ 駐輪台数：1,500台		
	新設小学校整備事業	関連事業	平成26年度の開校を目指し、平成23年度には木津中央地区の新設小学校用地の一部を取得し、実施設計を行う。			木津中央地区新設小学校用地：5835.96㎡		
	梅美台小学校校舎増築事業	関連事業	児童の増加に対応するため、梅美台小学校の校舎を増築する。			2階建校舎（6教室）の増築		
木津北・東地区土地利用計画作成事業	関連事業	都市再生機構が開発を中止した木津北地区及び東地区における今後の土地利用のあり方を検討し、土地利用計画を策定する。			学研木津北・東地区土地利用計画検討委員会を開催 木津川市学研木津北・東地区土地利用計画を策定			
住民協働事業	鹿背山の里地・里山を守り育てる活動	関連事業	木津北地区において生存が確認されたカスミサンショウウオの保護を目的とした活動に取り組む。			木津川市地域連携保全活動計画の素案作成に向け調査・検討会開催		
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	きのつバス年間利用者数（H22：272,845人） H23～H27で延べ約135万人の利用者		成果指標の実績値 （平成24年3月31日時点）	H23きのつバス利用者数245,857人			
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	木津駅前地区の区画整理事業の進捗状況や平成22年度の運賃改定の影響を考慮し、その長期的な推移を評価対象とする。H23～H27の5カ年の利用者数を目標数値とする。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）				
成果指標②	成果指標の目標数値	企業誘致件数：2件（平成23年度内）		成果指標の実績値 （平成24年3月31日時点）	企業誘致（木津南地区）：4件（進出の決定）			
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	関係機関（関西文化学術研究都市推進機構）と協力し、首都圏域での誘致活動を行うなど、積極的に対面活動を実施した。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）				
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	市内の学研都市区域の開発はもとより、在来地区と関連するインフラ整備を実施することは、木津川市全体の調和や利便性の向上に寄与するものである。学研都市区域をより良く発展させることは、流入人口の増加、企業や研究施設の誘致に大きな効果が期待できる。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・学研地区開発にあわせて周辺地域のインフラ整備や史跡保全事業を実施することにより、開発地区と在来地区との融合・調和が図れる。						
	府と市町村等との連携に資する成果	・関西文化学術研究都市の整備促進は、府山城広域振興局地域振興計画において明記されており、目的達成には公共交通の整備は必要不可欠である。中でもバスは生活に最も密着した公共交通機関であり、その利便性向上は、関西文化学術研究都市の充実等につながっている。						
	住民の自治意識を高める成果	・木津地域の住民47,237人（平成24年3月末）に対して、年間約24.5万人もの利用があり、住民のコミュニティバス利用に対する意識は高い。						
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果	・関西文化学術研究都市全体の利便性の向上につながる。						
	行財政改革に資する成果							
	その他の成果							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	安心安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成19年度～	テーマ	住民のくらしの安心安全を確保する	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	まちと市民のくらしの安心・安全を守るため、万一災害が発生した際に迅速かつ適切な対応が取れるよう、住民による自主防災組織の活動を支援し、災害に強いまちづくりを推進していく。また、子どもの安心安全を守るため、住民による地域ぐるみでの見守り活動を支援する。また、設備や資機材、物資などを十分に整備するとともに、施設や道路などの環境整備も進める。							
プロジェクトの目的及び概要	住民が主体となる自主防災組織や見守り活動に対する支援により、住民活動を促進させるとともに意識啓発にもつなげるなど、市と住民が一体となった安心安全のまちづくりを目指す。							
	総事業費（千円）	170,478	本年度事業費（千円）	60,130	交付金額（千円）	18,713		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	山城町森林公園消防施設整備事業 林道路面改良	交付対象事業	山城町森林公園に設置された消防ホースの更新と補充、林道神童子線の路面舗装整備。			消防用ホース：3本、吸管：1本 林道神童子線路面改良：411m		
	木津地区関連道路整備事業	交付対象事業	府立木津高等学校の周辺道路の整備。			設計業務委託（木津内田山地区内新設道路設計業務）		
	消防団詰所ホースポール更新事業	交付対象事業	円滑で迅速な消防団活動を行えるよう、消防団活動施設の整備を行う。			消防団詰所 ホース乾燥塔の設置：2施設		
	雨水排水対策事業	交付対象事業	山城町綺田地区における排水路の整備、山城町橋井地区における国道24号歩道整備に関連した周辺地域の雨水排水対策の総合的な調査及び排水路の設置工事。			山城町綺田地区 排水路設計測量設計業務 山城町橋井地区 雨水排水路設計業務 排水路設置工事：雨水排水管延長（173.7m）		
	木津保健センター改修事業	交付対象事業	木津保健センターの空調設備等の改修。			設計業務委託		
	幼稚園空調機設置事業	交付対象事業	猛暑や残暑に対処するため、市立3園の遊戯室等へエアコンを設置する。			市立幼稚園3園に空調設備の設置		
	防災対策事業	交付対象事業	広域避難所における高輝度蓄光式看板の設置。防災無線屋外受信局のバッテリー更新。自主防災組織活動の基盤整備として防災資機材・備蓄食料等の整備。住民による自主防災組織の日常の訓練や研修、防災知識の啓発活動等への支援。			高輝度蓄光式看板の設置：20施設 防災備蓄食料：ごはん4,000食 ミネラルウォーター1,560本 クラッカー4,060食 パン4,000食 自主防災組織等活動助成金交付：21団体		
義務教育施設等耐震補強事業	関連事業	相楽小学校の屋内運動場と中学校舎、木津小学校の東校舎の耐震補強工事、清水保育園の耐震補強改修のため実施設計を行う。			相楽台小学校 耐震補強工事実施 木津小学校 耐震補強工事実施 清水保育園 耐震補強工事実施設計			
住民協働事業	児童安全対策事業	交付対象事業	市立小学校全13校への警備員の配置。住民による地域ぐるみでの見守り活動への支援。交通安全用品の購入やヘルメットの購入に対する補助。			市内小学校へ警備員配置：13校 児童見守り員を通学路へ配置：1年間 市内中学校自転車通学者へのヘルメット購入費補助：4校		
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織 組織数の増 活動回数 組織率 19団体（H20）、21団体（H21）、25団体（H22） 年65回（H22）⇒年75回（H25） 65%（H22）⇒85%（H25）		成果指標の実績値 （24年3月31日時点）	自主防災組織 組織数 活動回数 組織率 25団体 年66回 70%			
	成果指標の達成状況	○	（左の理由） 目標数値の達成を平成25年度とし、転入等による新しい住民の方に対し自治会への加入を勧める等、自主防災組織の組織力向上のための啓発を行う。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）			（時期）			
成果指標②	成果指標の目標数値	備蓄食料 約24,000食（H22）⇒約60,000食（H25）		成果指標の実績値 （24年3月31日時点）	新たに約13,000食を確保（計37,000食）			
	成果指標の達成状況	○	（左の理由） 平成25年度における60,000食の備蓄を目標としている。平成23年度は目標の達成に向けて、相当数の食料を確保した。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）			（時期）			
成果指標③	成果指標の目標数値	登下校時の児童生徒の事故件数の減 8件発生（H22）		成果指標の実績値 （24年3月31日時点）	児童生徒交通事故件数 3件（H23）			
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由） 通学路における見守り活動により、交通事故の予防に効果があった。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）			（時期）			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	市では広域避難所看板の設置、防災倉庫の設置や物資の備蓄を行う一方、消防団設備の更新や自主防災組織の訓練等、住民防災組織への支援を実施している。事業実施における成果としては、過年度と比較において自主防災組織団体数の増加、自主防災組織加入世帯の増えたことによる組織率の増加が挙げられる。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	・児童・生徒への防災対策の強化。						
	府と市町村等との連携に資する成果	・各種応援協定などの整備・各種連絡調整の強化につながる。						
	住民の自治意識を高める成果	・各地域・自治会・自主防災組織などの防災活動を推進することにより、災害などに対する住民意識の向上につながる。						
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果	・市内の防災対策を強化することは、近隣の市町村への応援協力体制、連携の強化にもつながる。						
	行財政改革に資する成果	・備蓄食料等の購入は、各年度の負担が偏らないよう計画的に配備する。						
その他の成果								